

すてきな大分を伝えよう！

3月講話会 報告

一般社団法人すてきな大分を伝える会

皆様こんにちは。桜も開花し春たけなわの季節です。先月の講話会は、豊後大野市で真名野長者伝説の研究と地域振興に力を注がれる真名野長者伝説研究会 会長の佐藤芳延先生にお越しいただき真名野長者伝説とまちづくりについてお話をいただきました。当日は、教員時代の教え子さんや広島から娘さんと一緒に参加のお母さんはじめ真名研クラブや大友氏顕彰会の皆様等大勢のご参加をいただきました。ありがとうございました。



余談ですが、講師の佐藤先生のご自宅の庭には、今、自生しているオキナグサ（写真右：真名研クラブの内田様撮影）という珍しい花が満開です。三重町内山の先生のお宅には、ふるさとギャラリーもあり是非一度お訪ねください。

当日の先生のお話をいくつかご報告いたします。

① 真名野長者伝説の持つ魅力 1400年以上もの昔の伝説ですが、広がりと奥深さがあり、思いもかけないところで人とのつながりが出来ていくところがあります。この不思議な魅力を持つ真名野長者伝説を三重町の町おこしの核にしました。

② 伝説が正しく伝承され、町づくりに繋げるために『真名野長者伝説研究会』を設立ともすると粗略になる恐れがあるため、自らも『万之長者炭焼き小五郎 飛鳥のロマン 草刈山路と般若姫』（令和2年3月発行）を執筆し、更に今も毎月真名研クラブを開催し、調査研究と普及に努めています。



③ お祭りやフォーラムを開催して県内外に広がり

山口県熊毛郡平生町は、玉津姫や般若姫の伝説が残り、般若姫神社が建ち大切に保存されています。県外でも姫伝説を大事に守ってきている姿には感銘を深くします。【講話会参加の元三重町企画振興課長の赤嶺様がエピソードを披露】「平成16年第2回フォーラムで、地元の婦人が「奇跡の体験談」の発表者として立たれ、金龜ヶ淵に幼い頃より母に連れられ、額の痣（あざ）にその水をよく塗ってくれていたことや、そしていつかその痣は無くなったという証をされました。その時の司会者だった私（赤嶺様）は思わず、「いかにも本当のように話されましたか、‥‥」と口をすべらすと、婦人からすぐさま「本当の話ですッ！」と強く念を押されたのでした。」

④ 韓国益山市（ユクサンシ）と豊後大野市が友好交流協定を結ぶ

この伝説が、「韓国武王伝説と酷似している」とAPU金贊會（キム・チャンフェ）教授が、論文で発表されます。すると、真名野長者伝説への関心が一気に広がりを見せていきました。韓国益山市と交流が始まり、豊後大野市が誕生した平成17年（2005年）に友好交流協定を締結しました。この時益山市長も来られ、佐藤先生のご自宅まで訪ねられたのでした。



《質疑・応答》として、本伝説をこれからの町づくり、とくに少子化対策に生かせませんか？との質問が出されました。「実は、有ります」と答えられ、「内山観音は、縁結びの神様と言われ、また子授かりの観音様でもありますと、実例が披露されました。少子化対策に内山観音様が活躍されることを期待しましょう。

（青井勝久記）

《次回のお知らせ 次ページに掲載》

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ 4月・5月 講話会お知らせ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

4月27日（土）14時より開会 『「大戦国史」の中の大友義鎮』

講師：大友氏顕彰会 副理事長 佐藤弘俊氏
於：ホルホール大分 409会議室 参加費 500円/人

5月25日（土）10時より開会 『久留島武彦の童話の世界』

講師：大分県立先哲史料館 元館長 大津祐司氏
於：ホルホール大分 408会議室 参加費 500円/人

お問い合わせ先 一般社団法人すてきな大分を伝える会 青井勝久 TEL 080-3865-7104